

平成 22 年度 第 16 回 群馬経済同友会社会人講師派遣 平成 23 年 2 月 3 日(木)速記録  
講 師 林 明夫氏(株式会社開倫塾 代表取締役社長)  
演 題 「社会人として求められる能力とは」

## 1. はじめに

(1)宜しく申し上げます。この会場は剣道場ですね。私も高校生のときに、皆さまと同じように剣道をやっておりました。あまり強くはなかったですが、体育の授業で毎週 1 回か 2 回、高校 3 年生までやっていました。剣道はよいですね。背筋は伸びますし、素晴らしいスポーツだと思います。ただ、私の専門は柔道でした。柔道は中学生のときにやっており、冬は早朝の寒稽古をし、夏は暑中稽古で 1 ~ 2 週間ぐらいの合宿もしました。残念ながら、剣道部の人と比べれば、剣道は不得意でした。ただ、高校を卒業して 20 年間ぐらいは、高校の時に使っていた竹刀で毎日素振りだけはしていました。もう一回剣道をやりたいなと、この会場に来て思いました。

(2)今日は、社会で求められる能力とは何なのか、何のために学ぶのか、何のために働くのかというお話をさせていただきます。私が本日派遣されて来たのは、群馬経済同友会という経営者の団体からでございます。私もそのメンバーの一人です。群馬経済同友会にはどんなメンバーがいるかといいますと、この太田工業高校の近隣では富士重工業さん、坂本工業さん、しげる工業さん、ヨシカワさん、ミツバさん、とりせんさん、サンデンさん、山田製作所さんなどの会社です。開倫塾も群馬県内に 7 つの校舎がありますので、群馬経済同友会のメンバーに入れていただき、その一人として本日参りました。どうぞ宜しくお願いします。

## 2. 社会人として求められる能力とは

今日の本題は、皆さんが就職をする場合、大学・専門学校などに進学してから就職をする場合に、卒業後の生活をどうしたらよいかについてであります。高校卒業後に進学する場合でも、進学を果たした学校を卒業した後に最後は就職するわけですから、そのつもりで聞いてください。私は進学するから関係ないなどと考えないでくださいね。これから、仕事とは何か、社会で求められる能力とは何かについて私の考えをお話しますので、よかったら聞いてください。少しでも参考になると思ったところは、どんどんメモを取ってください。一所懸命話しますので、おしゃべりだけはしないでください。お願いします。

### <仕事とは何か>

まず、仕事とは何かです。仕事とは、お客様の問題解決になることです。例えば、私は今、ラジオ放送の番組を 15 年間続けた記念にと CRT 栃木放送という放送局からいただいた懐中時計をここに持っています。この懐中時計は、時を刻んで今の時間を知らせるために、メーカーが作ってくれたのです。自分では今何時かわかりませんから、時計が教えてくれているわけです。時計は、今何時か知りたいという人々の問題を解決してくれるためにあるものです。このように、

仕事は問題解決のためにやるのだということをまずは理解してください。

また、仕事には必ずお客様がいます。例えば、今日の私のお客様は皆さんです。来年、就職や進学を実現することが皆さんの問題だと思いますが、その問題解決に少しでも役に立ちたい、皆さんのお役に立とうと思って、私はここに来たわけです。このように、どんな仕事にも必ずお客様がいて、そのお客様が抱える問題を解決してはじめて、仕事をしたことになることだけは覚えておいてください。最終的には、お客様の役に立つことで社会の役に立つことになります。犯罪行為や人の道に反すること以外は、社会の役に立たない仕事はありません。

#### <何のために働くのか>

(1)次は、何のために働くのかです。皆さんは高校 2 年生ですから、何のために働くのかをそろそろ考えてもよい頃です。これがはっきりしていないと、雇うほうも心配です。開倫塾には今、350 名ぐらいの職員がいます。毎年 1,000 名以上の方が応募に来ます。いつも考えていることですが、何のために働くのかははっきりしていない人は、雇うほうも大変です。ですから、何のために働くのかをよく考えてください。

(2)これから話すことは個人的な意見ですが、一つの参考にしてください。まず、働くのは生活するだけの収入を得るためだと私は考えます。次に、仕事をするすることで、お客様の役に立つ。お客様の役に立つことで社会の役に立つ。

(3)そして、仕事を通して自己実現する。この三つのために、人間は仕事をするのではないかと私は考えます。皆さんはどう考えますか。

#### <社会で求められる能力とは何か>

それでは、社会で求められる能力とは何でしょうか。これは難しい問題です。

(1)私は、社会では第一に知識・情報・技術を用いる能力が求められると思います。今皆さんが高校で勉強していることや、今学んでいる専門技術、卒業後に専門学校や大学などで勉強すること、インターネットなどからの情報はもちろん大切です。しかし、これだけでは足りません。各会社、様々な職場に入ると専門技術を身につけなくてはなりません。勉強を続けて、これらを上手に組み合わせて用いる能力が社会では求められます。

(2)先ほど紹介していただいた私が昨年 11 月まで社外取締役を 6 年間務め、今、顧問をさせていただいているマニー株式会社という会社は、手術をする時の縫い針や、白内障を手術する時のメス、歯の歯根治療をする時のダイヤモンドのついたバーなどを作っています。世界の最高水準の医療機器を世界の隅々にという方針でやっています。日本では、栃木県宇都宮市清原工業団地で約 300 名の社員でやっています。ベトナムには 1,750 名の工場があります。ミャンマーにも 300 名の工場があって、ラオスにも工場を作っています。文化も生活習慣も違う他の国の人と一緒に仕事をするわけですから、多様な集団で活動する能力も必要です。

日本人だけでやっているうちはよいですが、これからは言語や宗教、文化、考え方の違う外国の人とも仕事をしなくてはなりません。そのような人たちと、いざこざを起こさないで仲良く、自分の主張もして相手の考えも知ってチームプレイで仕事をする能力も求められます。チームプレイとは何かといいますと、自分のポジションは自分で守り切ることです。この中にはサッカーなどをやっている人もいますと思いますが、お互いに信頼し合ってやることだと思います。文化、言語、考え方の違う人とも仲良くやることだと思います。つまり、多様な集団で活動する能力が、これからの社会で求められる大切な能力の第二番目だと私は考えます。

- (3)最後に社会で大切な能力は、自律的に活動する能力だと私は考えます。ここでいう自律の律とは、律する・コントロールするという意味です。自分自身をコントロールする、つまり、やっていいことと悪いこと、やるべきことを考えて、誰かに言われることなく自分で判断して自分の意思で行動できる能力のことです。社会で求められるのは、このような意味での自律的に活動できる人材、つまり規律ある人材です。高等学校で学んでいる間に、以上のようなことをよく考え、また、身につけた上で、私はこのことに自信がありますと面接で言っていなければ、これは採用です。

#### <元気な挨拶を>

社会に出て大事なものは元気な挨拶です。挨拶ができない人は、まず就職は無理です。大きな声で挨拶できない人は、就職は難しいです。それから、笑顔を作れない人も就職は難しいです。これは製造業でも接客業でも一緒です。私は特別養護老人ホームの理事を 20 年近くやっていますが、お年寄りと接する場合、一番大事なものは元気な笑顔です。是非、笑顔で大きな声での挨拶を心がけてください。

#### <これからの社会で求められる能力を身につけるには>

これからの社会で求められる能力を身につけるにはどうしたらよいかを、次にお話します。

- (1)まず、学び方を学ぶことです。勉強は高校でおしまいではありません。今の高校での勉強は準備です。もっと言えば、高校卒業後に進学する大学や短大、専門学校での勉強は、社会に出てからの勉強の準備です。重要なのは社会に出てからの勉強です。社会に出てから死ぬまで生涯にわたって勉強し続けることです。例えば、自動車の運転免許の試験も、十分に勉強しなければ合格できません。ボイラー技師などの資格試験も大変です。ですから、これから行われる学年末試験などを通じてどんな勉強をすればよい点が取れるか勉強の仕方を真剣に考えて、それを是非身につけてください。
- (2)参考までにお話しますが、学び方で一番大事なものは、今、勉強している内容、例えば学校の教科書に書いてあることをまずは理解することです。次は、理解した内容を正確に身につけることです。身につけた後は、実際に使えるまでにすることです。私は学習塾を 30 年以上やっていますが、成績の良し悪しに頭の良し悪しは関係ありません。勉強の仕方、特に一度理解したことを身につける方法がわかっているかどうか、実際にそれをコツコツやるかどうかで成績は決まります。特に、一度うんなるほどと理解した後、音読練習で声に出して読むことが重要

です。また、書き取り練習も大事です。社会に出てからも同じ方法で勉強すれば、仕事に必要なこともどんどん身につきます。それから、応用も大事です。応用とは、隅から隅まで覚えて、よい点を取ることです。社会に出てからもテストはたくさんあります。こんなにあるのかと思うくらい、社会に出てからもテストはあります。ですから、高校にいる間に勉強の仕方を身につけてください。テストを受けるときには、5年分ぐらいの過去の問題を5～6回やるのが大事です。これは、学校の定期試験や入学試験でも大事ですが、社会に出てから資格試験を受けるときのコツでもありますからよく覚えておいてくださいね。

#### <読書により思慮深さを身につけよう>

(3)就職試験対策で一番大事なのは、読書です。読書により身につくのは思慮深さです。読書により思慮深さを身につけることを心掛けてください。読書によって身についたしっかりした考え方を持っていれば、この人は採用です。それから、新聞を読むことも重要です。就職試験に受かりたいと思ったら、毎日最低でも1時間は新聞を読んでください。仕事とは、世の中の問題を解決することなのです。新聞を読まないと、世の中の問題がわかりません。今、1ドルはいくらでしょうか。81円ぐらいですよ。もし円安になれば皆さんの就職も少しはよくなるでしょうが、これ以上円高になったら大変です。日本でものを作っても高くしか売れませんから、為替相場は失業率と連動するのです。このようなことは皆さんの就職にも関係しますので、新聞を読んで、世の中のことを自分のこととして考えてください。では、新聞は読むに値するかという話です。ここに、読売新聞栃木版の「とちぎ寸言」のために私が書いた原稿があります。この800字のコラムを書くのに3日間、合計で5～6時間かかりました。私も新聞社から原稿を依頼されると真剣に書きますが、プロの新聞記者は皆、どんなに短い文、短い記事でも真剣に書いています。書くほうは真剣ですから、読むに値するものだと思います。新聞を通して、社会の問題は何なのか、それに対してどう考えたらよいのかがわかります。新聞を読んで自分で考える力、批判的思考能力を身につけることが大事です。

#### <書き抜き読書ノートをつくらう>

読書について言えば、学校の先生が紹介する本や、教科書に載っている本を読みましょう。皆さんの人格形成やものごとに対する考え方をしっかりさせるのに役立ちます。企業が望むのは、しっかりした人材、規律ある人材です。自分の考えに基づいてしっかり行動する人です。そのためには、幅広い読書により思慮深さを身につけることが欠かせません。読書の成果を自分の成長にどう結びつけたらよいかというと、私のお勧めは「書き抜き読書ノート」です。本を読んでいて「これはいいな」と思ったら、書き抜いておき、それを折に触れて繰り返し読み直すとよいです。「書き抜き読書ノート」を読み返すことが、自然のうちに自分自身の人格の基になることすらあります。

#### <躰を身につけよう>

それから、会社が望むのは躰(しつけ)です。躰とは、美しい立居振舞いと敬語表現を含む言葉遣いです。言葉遣いが大事ですから、国語の授業は大事です。美しい立居振舞いは部活動や学校行事で身につきます。それから、5Sというものも大事です。5Sとは、ローマ字で書くとSで始まる整理・整頓・清掃・清潔・躰のことです。多くの職場、会社、工場でもやっています。整理とは不

要なものを処分すること、整頓とは決まったものを決まったところに必ず置くことです。例えば、皆さんにとって一番身近なところでは、かばんですね。皆さんは、かばんの中のどこに何を入れるか決めていますか。私はどこに何を入れるか決めてから、探さなくても済むようになりました。5Sは、高校生のころから心掛けることをお勧めします。

#### <学校の勉強はすべて役立つ>

学校の勉強は全部役に立ちます。一番役に立つのは保健体育の保健でしょう。保健の教科書には健康の秘訣が書いてあります。その通りにやっていたら、病気になりにくいです。次に役に立つのは家庭科だと思います。家を離れれば一人で暮らさなければなりません。その時、自分で料理ができるか、部屋がきれいか、これらは家庭科をやっていればできます。それから、音楽と美術も大切です。情緒が不安定だとよい仕事はできません。英語も大事です。外国人が来たら、英語で話してあげることが一番の親切です。私はフランス語があまりできません。以前、フランスに行き OECDでの国際会議に出たことがありました。あるグループに私が入り、私がフランス語は挨拶ぐらいしかできないとわかったその瞬間に、それまでフランス語で話していたフランス人のグループの会話が英語に変わりました。親切とはこういうことかと思いました。

#### <教科以外の勉強も大事>

教科以外の勉強も大事です。一番大事なのは、遅刻しないで、決まった時間の少し前に到着する能力です。仕事の場でみんなに遅刻をされたら、仕事になりません。普通の会社では、理由のない遅刻を5回ぐらいすると始末書を書けと言われます。始末書が10枚ぐらいたまると、ここは無理だから辞めたらどうですかと言われることも多い。信用できないからです。学校にいる間も遅刻・欠席をしないことを心掛けてくださいね。

#### <何のために学ぶのか>

次に、何のために学ぶのかについてお話をします。人生の選択肢を増やす、多様な選択肢をもつ人生を歩むために勉強するというのが私の意見です。学べば学ぶほど、はっきり言ってしまえば、学校の成績がよければよいほど就職は楽になります。どこにでも就職できて、就職活動における選択肢が増えます。採用するほうも、成績を見ればこの人は学校でよく勉強したということがわかります。出欠の状況も、就職のときには、成績と同様に非常に大切です。

#### <自己責任、自助努力、自分の未来は自分で切り開こう>

自己責任・自助努力の考えで自分の未来を切り開くことも大切です。医者や弁護士になりたいと思えば、今から必死で勉強すればいくらでもなれます。ある会社に入りたければ、必死で勉強すれば誰でも入れます。頭の良し悪しは関係ありません。既に皆さんは太田工業高校という立派な高校に受かっているのですから、能力は十分にあります。大事なのは、その仕事に就けるだけの勉強を必死になってやるかどうかだけです。十分に勉強してよい成績を取った人は、自分の希望するところに受かります。勉強すれば自分の夢は叶います。ただ、夢は叶わない場合もあります。実は私も弁護士になりたかったのです。しかし、勉強が不足して受かりませんでした。8回も落ちてしまったのです。29歳まで大学の研究室で勉強していました。受からなかったけれども、法律を勉強し

たことは役に立ちました。今もとても役に立っています。もし夢が叶わなくても、勉強したことは役に立ちます。

<私の好きなことば>

最後に、私の好きな言葉を紹介します。

(1)まずは「練習で泣いて試合で笑え」です。私は柔道をやっていましたが、この言葉は中学校時代の柔道の監督、椎名弘先生が教えてくださいました。

(2)次は「ブルドック魂」です。食い付いたら放すなということで、中学3年生のときのクラス担任、岡田忠治先生が教えてくださいました。

(3)足利高校のときにマラソン大会のキャッチフレーズとして教わったのが「一所懸命」です。字が違うのではないですかと先生に聞いたところ、一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組むことが大事であると教えられました。

(4)慶應義塾大学時代には「いつも最悪のことを考えて行動しなさい」という言葉を法哲学の峯村光郎先生から教えていただきました。

(5)また、犯罪学や刑事政策を学んで多くの刑務所を訪れていたのですが、そのゼミの宮沢浩一先生からは「注意一秒、けが一生」という言葉を教えていただきました。

(6)慶應義塾大学の小泉信三先生という元の塾長先生が教えてくださったのが「練習は不可能を可能にする」という言葉です。

(7)京都の一燈園の石川洋先生から教えていただいたのが「会った人は皆友達」「人生逃げ場なし」「本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか」です。

(8)昔の世阿弥という人の言葉で好きなのは「初心忘るべからず」です。

(9)インドの「目には遠いが、心は近い」ということわざも大好きです。

(10)ドラッカーという高名な経営学者の先生の教えで大好きなのは「教育ある人とは勉強し続ける人」です。

では、いつまで勉強すればよいのか。私の考えは、死ぬ前日までです。今、ヨーロッパやアメリカでは高齢者が大学に行くことが流行っています。そうすると元気でいられるわけですね。大学などで勉強し続ける人はいつまでも若々しく生き続けられますから、医療や福祉のお世話になる確率が下がります。つまり、納税者の負担、社会の負荷を低めることができます。このように、超高齢化社会ほど勉強し続ける生き方が大事です。

(11)「いつまでも若々しく生きる」、中村天風先生のこの言葉もよい言葉だと思います。

(12)相田みつを先生からは「一生勉強、一生青春」という言葉を教えていただきました。

これらはみな、身近な人から教わりました。皆さんも、先生や職場の人から教わったらメモしておいてください。そして、自分の励みにしてください。素晴らしい一生を送れると思います。

### 3. おわりに

(1)今日は、皆さんが就職試験に成功するにはどうしたらよいかについてお話しました。もう一度言います。新聞は毎日1時間は読みましょう。学校の先生が薦める本や教科書に書いてある本や図書館にある本も読んでみましょう。1か月に最低1冊、できれば1週間に1冊は読みましょう。そして、何のために働くのか、何のために勉強するのかを考えてみてください。

(2)ただ、一番大切なのは健康です。健康を崩してまでいろいろなことをすることはないと思います。健康には心の健康と体の健康の2つがありますから、ともに大事にしてください。皆さんのご成功をお祈りしまして、私のお話を終わりいたします。ご清聴ありがとうございました。